

1. はじめに

進捗

A

in

近藤 大祐
u220024@st.pu-toyama.ac.jp

富山県立大学 工学部
情報システム工学科

June 2, 2025

1. 不動産価格形成要因の分析

2/6

1. はじめに

背景

近年、ヘドニック・アプローチは、不動産や消費財の価格形成を分析する有力な手法として広く活用されている。この手法は、価格を構成する特性に分解することで、市場価値を精緻に評価することを可能にする。本研究では **ElasticNet** および **Adaptive ElasticNet** を用いたスパース推定法を導入し、重要な変数の選択や複雑な相互作用の把握を通じて、より高精度で信頼性の高い価格評価モデルの構築を目指す。これにより、従来のモデルでは困難であった非線形的かつ多次元的な価格形成メカニズムの解明が可能となり、実務への応用が期待される。

1. はじめに

目的

従来のヘドニック・アプローチが抱える多重共線性や欠落変数、非線形性・交互作用の未対応といった限界を克服し、不動産や消費財の価格形成においてより正確かつ信頼性の高い価格評価手法を提供することである。特に、ElasticNet および Adaptive ElasticNet などのスパース推定法を活用することで、複雑な要因の相互作用や微細な変動を精緻に捉え、実務的にも有用な高精度の価格モデルを構築することを目指している。

1. はじめに

確認と修正

動作は正常に行えた。

メッシュの割り算が正しくできておらず、寄与率が正しい値で出ない。

犯罪データのスクレイピングができないので手動で持ってくるしかない。

1. はじめに

やること

新規性を考える。

WebGis をちゃんと動くようにする。

Temporary page!

\LaTeX was unable to guess the total number of pages correctly. As there was some unprocessed data that should have been added to the final page this extra page has been added to receive it.

If you rerun the document (without altering it) this surplus page will go away, because \LaTeX now knows how many pages to expect for this document.